

OECC セミナー開催案内

MDGs から SDGs へ ～ポスト 2015 に向けた環境・ 開発・援助を巡る国際議論の動向

OECC 研修部会

OECC 研修部会は、2014 年 10 月 17 日（金）に、ポスト 2015 年を巡る国際議論の動向をテーマに、第 30 回 OECC 海外環境協力セミナーを開催いたします。どなたでも参加できるセミナーですので、皆様のご参加をお待ち申し上げます。

趣旨：

2012 年 6 月にブラジルで開催された国連持続可能な開発会議（リオ+20）において、SDGs(持続可能な開発目標)の設定が合意されました。これは、途上国の貧困の撲滅とミニマムな社会条件の確保を目指して 2000 年の国連サミットで合意された MDGs（ミレニアム開発目標）が 2015 年に達成目標年を迎えることから、この MDGs に代えて、ポスト 2015 年の持続的な開発の達成に向けての国際社会の新たな共通目標に合意しようとするものです。

MDGs が開発途上国を対象とした枠組みであったことに対し、SDGs は、先進国・途上国すべての国を対象とする普遍的な目標を設定することを目指しており、その合意には数々の困難が予想されます。これまで、国連のオープンワーキンググループ(OWG)を舞台に、国連総会に提出される案文の策定をめぐって活発な議論が交わされてきましたが、この 9 月からはこの原案をもとに来年末の合意を目指していよいよ国連総会の場において議

論が開始されます。

この度、様々な専門家をお呼びして、1992 年のリオサミットで合意された Agenda 21 から 2000 年の MDGs, さらには 2015 年中の合意を目指す SDGs へと至る経緯、日本政府のコミットメント、先進国も含めた各分野をめぐる議論、また国際 NGO の視点等について紹介し、ポスト 2015 年に向けた環境・開発・援助を巡る国際議論の動向について考えるセミナーを開催します。

日時： 2014 年 10 月 17 日（金）13：30-17：00

場所： エッサム神田ホール 301 号室

講師： 環境省地球環境局国際連携課

地球環境情報分析官 松本 公男 氏
東京工業大学 大学院社会理工学研究科
准教授 蟹江 憲史 氏
IGES 持続可能な消費と生産領域（SCP）
領域長 堀田 康彦 氏
「環境・持続社会」研究センター

事務局長 足立 治郎 氏

申込： お名前、所属、連絡（電話番号、E-mail 等）を明記の上、seminar@oecc.or.jp までメールでお申込みください。

* 詳細については、後日 OECC ホームページ (<http://www.oecc.or.jp/>) に掲載いたしますのでご参照ください。

第 15 回世界湖沼会議（イタリア・ペルージャ）に出展

OECC 広報・情報部会

世界湖沼会議は、湖沼及び貯水池の科学、管理及びガバナンスの重要課題における知識及び経験を議論する学術会議ですが、この度、第 15 回世界湖沼会議が 2014 年 9 月 1 日～5 日の日程でイタリア・ペルージャにおいて開催されます。OECC は、当

センター及び会員の活動紹介を目的としたブースを出展し、OECC の活動を紹介したポスター、OECC 事業案内のほか、参加会員による水質保全関連プロジェクト紹介資料、事業案内、製品カタログ等を展示する予定です。